

花 通 心

発行：NPO法人加古川緑花クラブ（KRC=Kakogawa Ryokka Club）
〒675-0111 加古川市平岡町二俣884-14 Tel/Fax：079-437-6252



❀ 加古川市「花とみどりのまちづくり講座」を振り返って❀ (下)

講座統括責任者：安尾昌子

講座は、街区公園の維持管理者を養成する目的でスタートしましたが、現実には自治会、老人会などが管理していることが多く、修了生の活躍する場はほとんどありませんでした。修了生が継続的に活動できるように、また2006年のじぎく兵庫国体の運営を受託するためにも、組織を法人化する必要があり、2005年12月1日にNPOを立ち上げることになりました。主たる業務は講座中に制作した街角花壇の維持管理、まちづくり講座の運営受託、日岡山パブリックアート展主催などですが、私が会員に望んだのは、他を益しながら自身の自己実現を図って欲しいということでした。

小さい頃から究極のわがまま、協調性の乏しい私ですが、一人でできることには限界があり、協力し合って達成することのすばらしさ、楽しみはわかっていたようで、会員の皆さんにもそれを味わっていただきたいと思っていました。緑花クラブにはその力があり、仲間づくりは自己実現をする上でも何よりも大切な要素です。時には考え方の違い、意見の違い、仲たがいがあったり。でも作業を通じて 時がたてば笑える、許せる、そうしないと前に進めない、それが組織であり仲間だと思えます。

そんな活動も17年が過ぎ、まちづくり講座も21年が経過しようとしています。私の活動も終盤戦に入りました。今年3月には卒業です。74歳、若いのか年寄りなのか自分でもわかりません。ああしんどいな、面倒くさいと思うときが年寄り、筋の通らないことに対してそれは違う、許せんと思える時が若いとき。日によっても色々です。でもどっこい生きている、まだまだくたばりそうもない。まだ何かやりたい自分がある。今までの生活をリセットして、よくわからない人生をもっとエンジョイするために、一歩踏み出したいと思っています。今まで皆さん、わがままな私に長い時間付き合ってくれて下さってありがとうございました。皆さんもお元気で。

令和5年1月



2023年新春 理事長挨拶

新しい年を迎え早や2ヶ月が過ぎようとしています、改めまして新年明けましておめでとうございます。10年に一度の大寒波のため厳しい寒さの日々が続いておりますが、会員の皆様には寒さに負けずお元気でお過ごしのことと思います。当クラブも設立から18年を迎えますが、今年も「街角花壇の管理」、各種イベント開催等いろいろな活動を実施して行きますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。さて、「加古川市主催：花とみどりのまちづくり講座」の統括責任者として、また当クラブの顧問として、平成14年の開講から21年間勤めてこられました安尾昌子先生が、今年の3月で退職されます。私たち会員のほとんどがまちづくり講座の修了生で、先生の教え子です。講座修了後もクラブの会員として、永きに亘り本当に多くのことをご指導いただきました。クラブを代表いたしまして深く感謝申し上げます。また市内8ヶ所の街角花壇、日岡山公園を彩る多くの花壇は、安尾先生のご指導の下、800名余りの講座生が汗を流し、先生と一緒に苦勞の末に作り上げた花壇で、当時を思い返し、先生のご功績を讃えると共に、私たちもその努力を誇り思います。ご退職後も先生にはまちづくり講座の講師を務めていただき、ご支援を賜りますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。コロナ禍が始まって早くも3年が過ぎました。世の中はWITHコロナへ移行しようとしています、これまで通り感染予防に努めながら今年も「明るく！元気に！美しく！」をモットーに頑張ってください。

令和5年2月 理事長：有川優一郎

🌸 街角花壇だより...

12月中旬新年を前に、ハボタン、ビオラ、ノースポールと、寒さの中で元気に咲く花たちで、市内8カ所の街角花壇を植栽しました。1月末には厳しい寒波で花壇も雪に埋もれましたが、暖かい日差しが戻ると、また元気を吹き返しています。



良野交差点花壇



溝之口花壇



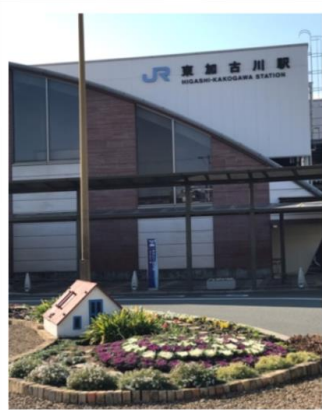
加古川駅北花壇



平野交差点西花壇



平野交差点東花壇



東加古川駅北花壇



神野駅北花壇



加古川駅南花壇

2022岡山パブリックアート展

テーマは、つづく...! “花とみどり”で住み続けられるまちづくり

今年は、「花とみどりで住み続けられるまちづくり」をテーマに、1級建築士の島崎淳二氏による、古民家再生の講演をメインイベントに、ミニガーデン・寄せ植え展示、SHOP、本格珈琲の喫茶コーナー、フリマ、子供たちのお楽しみイベントと、講座生と会員による手作りの催しを数多く展示、出店しました。3年ぶりに会場に飛び出したみどりんが、子供たちの人気を集め記念撮影に大忙し! 今年も晴天に恵まれ多くの来場者でにぎわうことができました。



みどりんとネイチャーゲームを楽しむ子供たち



ミニガーデンと制作中の講座生



手作り風車の子供たちにプレゼント



本格珈琲は行列ができる大好評!



立体輪投げに熱中する子供たち

❖ 2022年度：花とみどりのまちづくり講座活動状況 ❖

今年度の花とみどりのまちづくり講座は、総合コース12名、プランニングコース27名でスタートし、早や10カ月が過ぎました。今年3月に修了予定の21期生は、卒業制作としてロックガーデンの制作に取り組んでいます。安尾先生は、これまでのガーデンと目先を変えて新しいチャレンジを！と、ロックガーデンを提案されました。古代から採石が続いていることで名高い竜山石を、高砂市の松下石材店さんからトラック1台分購入し、講座生からも石の提供があり、暑い夏から作業が始まりました。現在3班に分かれ、それぞれに特色あるガーデンの制作が進んでいます。各班長にその取り組み状況を聞いてみました。



- 1班：中央部分を担当しています。和風でありながら他班の雰囲気と協調することを心掛けています。講座で学んだ「自助共助」、そして揺るがない意思（石）を表現しています。（大宮恵子）
- 2班：平坦な土地に石を積んでいく時は、石の積み方がわからない、石の向き（顔）がわからないと悩みました。植物はアガベ、サボテン、グラスなど荒々しいものを主体にしています。（上田恵子）
- 3班：我々の班は、育苗園内でも唯一無二の、植物園などでしか見られない立派なリュウゼツランを主役にし、荒涼とした岩々の中で、岩間から可愛い一輪の花が顔を覗かせている。そんな石庭をイメージして制作しています。（松野博）



★ 私たちもSDGsに取り組みます！・・・今年も大量の腐葉土を仕込む



2022年12月11日、加古川中央ライオンズクラブの皆様が、日岡山公園で清掃活動をされました。無尽蔵な落ち葉の廃棄物を利用させていただき、今年も加古川緑花クラブ特製の腐葉土の仕込みを行いました。天然の良質な土壌改良剤の腐葉土は、落葉と米ぬかと水を混ぜて踏み固め、年3回ほどの切り返しを経て、今年の12月には熟成して完成します。

🌿 納会で門松作り 🌿

本多 隆

令和4年12月21日、今年も無事納会で育苗園入口、講座室、管理事務所と3対の門松を制作しました。加古川緑花クラブでの門松制作1号は、13年前の竹の高さが2.5mの巨大門松でした（写真左）。毎年各地の門松（日岡神社、野口神社、イトーヨーカ堂、野口公民館など）を見て研究し、現在のKRC流になりました。基本材料は、松・竹・梅・紅白ハボタン・ナンテンで、育苗園周辺に多くありますが、門松用には不適で、材料集めはひと苦勞です。一年前より良い材料を探し始めます。竹は適する太さの、肌が綺麗で曲がりの無いものを、3セット分5本必要とします。門松の印象は竹の力が大きく、カット角度の鋭さ、節の位置（笑い顔）が重要です。毎年進歩しやっとカット技術が完成しました。松は日岡山公園付近一帯に多くあるも老木で、門松用の黒松（男松）赤松（女松）の若松でないので使用できません。今年は鳥取の元気な松を飾ることができました。来年用は今から若松を求めています。梅は蕾付きが路地では無理で老木を利用し、ハボタン、ナンテン類は豊富に入手できます。門松の組み立ては技術を要します。竹の並べ方は当クラブは中高形ですが、竹の高さは7:5:3で、組み方は中外の迎形、中内の送り形もあります。飾り付けはさすが女性陣の技術力で美しく出来あがりしました（写真右）。鉢飾りの宿題が残っていますが、今から次回の門松作りを楽しみにしています。



今回は病院で働く、一臨床検査技師の仕事について書きたいと思います。2022年4月1日付けで、兵庫県立子供病院から加古川医療センターに異動し、現在検査部生理検査室で、主に超音波検査や心電図検査などを担当しています。超音波検査は乳腺と甲状腺を担当していて、現在腹部領域を習得中です。患者様の膵臓腫瘍や胆のう結石、慢性肝炎経過観察中の肝硬変等に気づいて指摘できるよう、研鑽の日々です。週に一回程度は採血室担当もあり、私なりに頑張っていますが、一度で上手く採血できない時もあり、冷たい汗をかいています。月に2、3回は夜間当直もあり、平日は朝から夕方までの生理検査業務に続けて、17時30分から翌朝8時45分まで、ひとり検体検査室で、血液検査や生化学検査、PCR検査、輸血業務等に携わっています。ひとりで不安な当直時間帯には、加古川や播磨地域で交通事故や火事などの事件事故、心筋梗塞や脳梗塞、コロナ重症化などの急病が起こりませんように、と平和な夜を願っています。これまで兵庫県立病院の姫路循環器センター、子供病院、西宮病院などに異動して勤務して参りましたが、いつも地域の平和を心から祈る当直の夜です。私が植物に興味を持ったのは、子供が小さくて出かけにくい日々でも、家の庭なら趣味の時間を持てるのでは、と思ったからです。植物のお世話の仕方を学びたいと思い受講生になった時は、まだ子供が小さくて、子守りを頼める人のいない時は教室に連れて行くこともありました。先生方も同期の皆様も温かく見守って下さいました。ありがとうございます。そんな子供たちも無事に成人しています。仕事や家庭のストレスも植物に触れていると和らぐ気がします。会員としては休日に参加可能なものしか出席できていませんが、これからも皆様と一緒に活動でたら幸せだなと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

023年1月



🌳 樹木観察会だより 🌳 2023・1・16 日岡山公園内

樹木観察会に参加するようになって、日岡山公園の樹木の種類の多さに驚きます。季節を追って、新芽、花、紅葉、結実、園内を散策しながら、四季の移り変わりを植物目線で感じる、楽しい時間です。1月の樹木観察会では**冬芽**（春に伸びて葉や花になる芽）を観察しました。こんなに寒い時期から春に向けて準備はしっかり進んでいます。樹木によって様々な形、色、質感があり、さらに面白いのが冬芽の根元にある**葉痕**（葉が枯れて落ちた痕）です。虫眼鏡で拡大してみると、猿の顔に見えたり、人の笑顔に見えたりします。歩きながら、葉や花がないこの時期ならではの「樹木名当て」などをして、楽しいひと時でした。

(レポーター：成田寿栄)

冬芽とは？



冬、すっかり葉を落とした樹も近づいて枝を見れば、春を待つ冬芽がついている。それは樹によって違い、葉痕の表情もさまざま。ぜひルーペを持って見てみよう。冬の散歩がとて楽しくなる。

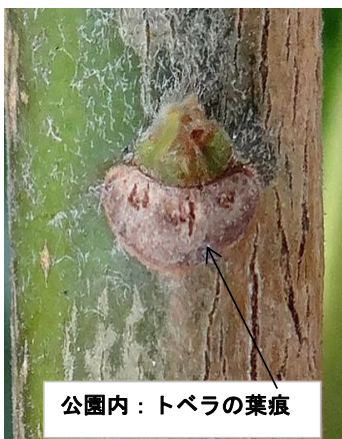
(樹木観察会1/16資料より)



エイト花壇：サンシュユ



育苗園：ホオノキ



公園内：トベラの葉痕

日岡山公園で冬ごしする野鳥

樹々が葉を落とした冬の公園散策の楽しみに、野鳥の観察もある。双眼鏡を持って遠くから観察しよう。



ジョウビタキ



シロハラ



ルリビタキ